



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ 第1963回例会 2012.9.6 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

■ゲスト紹介

学校講師・リラクゼーションサロンの経営
カラーセラピスト・ボディワーカー 鳥宮 文様

■米山記念奨学生

カミング・キャサリン様

■会長報告

- ・次頁に掲載

■会務報告

- ・帯広各RC例会案内
- ・RI第2500地区 地区大会開催案内

■委員会報告

- ・親睦活動委員会
誕生日と結婚記念日祝い
- ・米山記念奨学委員会
米山奨学事業への支援のお願い

■ニコニコ献金

- 川田章博会員 とかちマルシェ無事終了、太田実行委員長に感謝。
- 太田 豊会員 とかちマルシェ実行委員長、大成。
- 河西智子会員 プログラム委員会 担当例会御礼。
- 柳沢一元会員 ニトリレディス観戦、北海道GCにてプレイ & 9/3ラグビー参戦で無傷。
- 工藤正宏会員 ニコニコ献金初披露。

■プログラム

プログラム委員会担当例会

プログラム委員会 委員長
河西 智子



「色と健康」

ゲスト 鳥宮 文様

皆様は十勝の豊かな風景(カラー)に囲まれた土地に住まわれております。色のイメージをどれだけさることがあるでしょうか。色には好き嫌いがあり、その理由を分析するのが色彩学、色彩心理学です。

カラーセラピーは選択する色から心理分析します。色の効果には精神的効果と肉体的効果があります。

その中から、テーマの色と健康について、お話します。チャクラ。人の体の中心を下腹部から脳天に向けて、赤、オレンジ、黄色、緑、空青、紫の色分けされています。それらの色は精神と肉体を繋げる色合になります。

赤は昂揚、オレンジ・黄色は消化器官の活性、緑は心臓の鎮静、空青はリラックス・思考整理、紫はストレスなどの解消・感覚の向上、これらとは反対に黒は健康に好ましくない。



生活に色を効果的に使う…バランスが取れるのが好ましい、食事や心身につながることから、色の効果も健康維持に役立てて頂きたい。

2012年 9月 新世代のための月間

ニコニコ 9月6日 16,000円
献金 累計 198,000円 (9月6日現在)



会長 川田 章博 副会長 岡田 武穂 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会
幹事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員会理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



会長報告「ウイスキーのお話」

川田章博会長

私のウイスキー好きは、地元帯広ではかなり有名です。建前は異業種交流会ですが、実態はシングルモルトウイスキーを飲むRyu's Club (別称…北海道モルトウイスキー協会)の理事長でもあります。西ロータリークラブの会員の中には、そのクラブが運営するバーに無理やり引っ張っていかれて、シングルモルトウイスキーを飲まされる羽目になった幸せ(?)な人もいます。

ところでウイスキーは錬金術師が金を造る蒸留器に醸造酒を入れたところ、強烈な液体が出来てこれがウイスキーになったそうですが、彼らはそれを不老不死の液体と信じ、アクアビテ(命の水)と呼びました。その後、このアクアビテにまつわるエピソードはあまりにも数多くありますが、知っておいて損はないと思うので私の知っている中から二つだけを紹介したいと思います。

◎18ホールとスコッチの関係

スコットランドと言えばウイスキーとゴルフの発祥地。ゴルフは18ホールで勝負しますが、なぜ18ホールになったかについてはウイスキーが深く関わっています。スコットランドの原野は風が冷たく肌寒い。自分がプレーをしているときは良いが、仲間がプレーをしているときはじっと見ていなければなりません。それでいける口のゴルファーは、寒さ解消のためにボトル一本を持参してゴルフ場へ行きました。その頃のゴルフ場は、3ホールくらいを何回も同じところをぐるぐる回るものでした。そして1ホールごとに1オンス半(約42.5グラム)のスコッチをグイッと喉に流し込む。そうするとちょうど18ホール終了したところでボトルが一本空になったのだそうです。これが、ゴルフのプレーが18ホールになった理由です。

◎Barの語源

日本でも有名なBarなるもの。いったい何処から来たのかというと、アメリカが発祥です。アメリカの西部開拓時代、人々は西を目指して移動しましたが、それぞれの町に酒場が出来ようになりました。そこはSALON(サロン、フランス語で憩いの場所)と呼ばれましたが、そこではウイスキーやビールが樽から計り売りされていました。そうこうするうちに勝手に樽から酒を汲んで飲みだす荒くれ者が出始め、そこで店主はBAR(陸上競技のハードルのBARと同じ意味)で樽を囲み、勝手に近づけないように酒樽を守ったそうです。それが「BAR」の起源。なお、この客と樽とを遮る、横にはりめぐあされた木がのちのカウンターになります。

などなど、アクアビテに関する話は山ほどあります。

ウイスキーを飲むときには、必ずストレートで飲むこと。そうしなければウイスキーの味が分かりません。ただ、ウイスキーだけを飲むと胃に負担がかかるので、傍らにチェイサー(水)を置いて、一口飲むごとに水を一杯飲み、お腹の負担を緩和させてやるのがコツです。

ゆめゆめ最初から水割りなどという邪道のようなものを頼まぬように(笑)…それでは美味しいウイスキーが飲めますように、スランジバー(スコットランド式の乾杯)!

広報委員会からのお願いです



広報委員会では、会員みなさんに「会報」への登場をいただくため、「原稿」をお願いしておりますが、現在、協力いただいた方が10名ほどの状況です。日々お忙しい中、恐縮ですが、何卒趣旨をご理解いただき、「友情をもって」原稿提出のご協力をいただきたくお願い致します。

原稿の内容はまったく自由です。ロータリーのことでも、趣味のことでも、日頃考えていることでも、何でも結構です。受付は随時、委員長鈴木、副委員長本田にご提出ください。